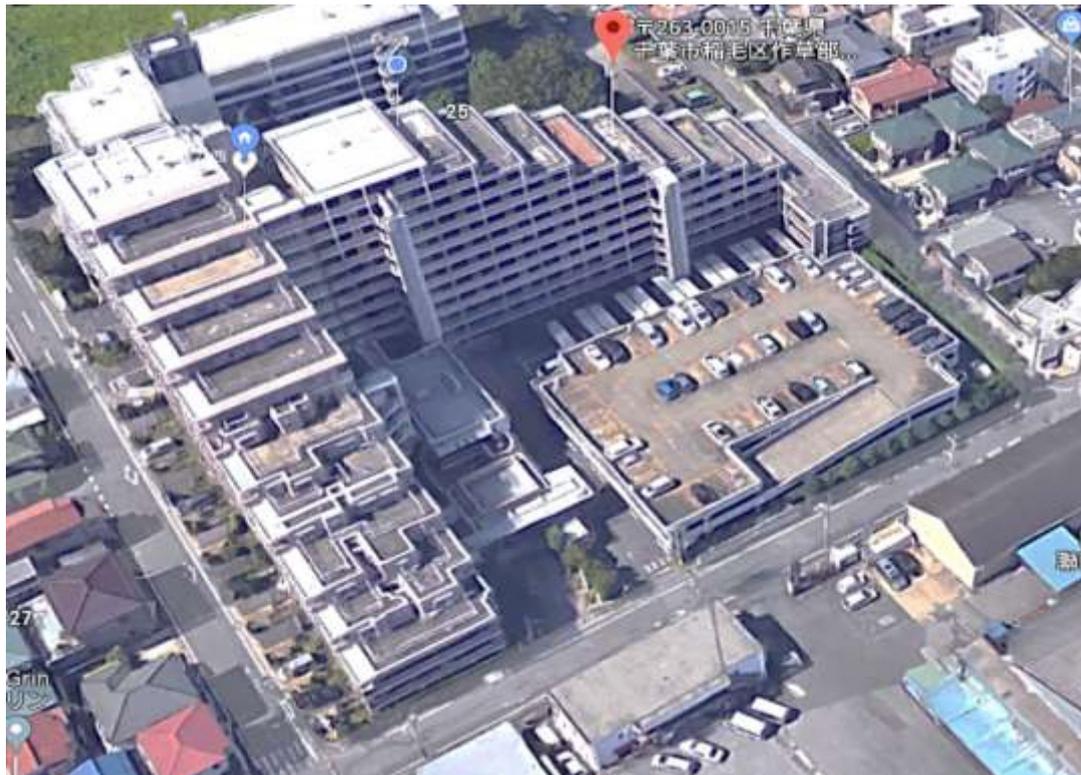


平成31年2月2日(土)樹木診断会 報告

場所:レーベンハイム西千葉ガーデンシティ

住所:稲毛区作草部1-26-1

13階建れ、192戸、築年:2006年8月(平成18年8月)築12年



希望するアドバイス内容:

第1回大規模修繕工事が終わり植栽環境の改善が次の課題です。特に中庭の改善を検討しており、業者へ改善提案を依頼していますが「環境にあった樹木/植物の紹介」「土壌改善など環境改善について」「環境にあった手入れについて」「修繕工事で痛んだ植栽の対応」などについてアドバイスをお願いしたい。

また、2014年10月に樹木診断をしていただいたときは花壇(地植えの花)はなく、プランターだけでしたが、先生からのアドバイスで敷地の一部を花壇にし草花を育てていますので、その状況も診ていただき、日頃の手入れなどについてもアドバイスいただきたい。

樹木診断会の流れ:

植栽委員/植栽ボランティアのメンバー10名と清掃員さん1名、植栽業者さん1名、計12名と先生とパーティールームにてプロジェクターを使い販売当初の販促ビデオやパンフレットと現状の写真などを見るなど情報共有を図り質疑応答を行った後に実際に敷地内を巡回し、再度パーティールームで意見交換やアドバイスを受けた。なお、先生からは日陰でも耐性のある植物の紹介やグランドカバーなどについて説明があった。



質疑応答/意見交換の様子



植栽配置図



販売時の中庭イメージ図



現在の中庭



↑ 大規模修繕で痛んだシャガ
← 枯れたイチイ(引き抜いた)



外周の生垣「サワラ」と「アメリカカワウ」(樹間が近く、サワラの一部が枯れる現象あり) (支柱は不要)
(土手には「オキザリス」や「ブラジルエンシス」を植えるのもよいとのアドバイスあり)



↑
セレクトガーデン前の
低木「ツツジ」は不要。
(他への移植も要検討)



↑
駐車場前のスロープの花壇化を検討
←サブエントランスの花壇

大矢先生から頂いた、日陰でも耐性のある植物一覧等の資料を添付します。(以下3頁)



カクレミノ (常)



月桂樹 (常)



シマトネリコ (常)



イロハモミジ (落)



ヒイラギモクセイ (常)



ヤブツバキ (常)
＜合弁花＞



リョウブ (常)



アセビ (常)
＜馬酔木＞



アカバナアセビ (常)



ヒイラギナンテ (常)



クチナシ (花) (常)



クチナシ (実) (常)



エゴノキ (落)



センリョウ (常低)



マンリョウ (常低)



沈丁花 (常)



アオキ (常)



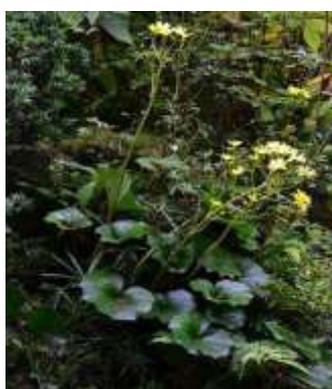
アオキ (班入り)
(常)



アラカシ (常)



アスチルベ (花)



ツクブキ



シヤガ



シダ



フッキソウ



タマリユウ
タマリユウ植え付け



アシュガ
(午前)



緑化のPoint 緑化のポイント
 ※グランドカバー

基本植栽は

樹木の衰弱原因と思われるもの

樹木の衰弱原因と思われるもの
 ・土壌の貧栄養、単粒摘？（過排水）、アルカリ化、日照不足

・土壌の貧栄養、単粒摘、アルカリ化、日照不足
 （過排水）



有機物（腐植土）の混入 → アルカリ化の緩衝作用
 （土壌の緩衝作用 → 保水・排水・保肥は良好）
 樹木の根の生育空間が良好に保たれる
 良好な土壌改良剤として
 樹木の耐冷性向上